

## 恋の成就願い ハート形花火 阿南

14日のバレンタインデーを前に、「恋人の聖地」とされる阿南市富岡町の牛岐城趾公園周辺で12日夜、恋の成就やカップルの幸せを願うハート形の花火が打ち上げられた。写真。

ハート(810)の語呂合わせで午後8時10分に開始。女性花火師2人が20発を打ち上げ、青いハートマークが夜空を彩ると、公園を訪れていた親子連れやカップルから歓声が上がった。

母親と来た富岡小2年の橋本結さん(8)は「ハートの形がとてもきれいに見えた」とうれしそうだった。

打ち上げは、「阿波花火師有志の会」が地域活性化と女性花火師の育成を目的に、毎年行っている。

(岡田麻衣)



## バレンタイン 気分盛り上げ

市地域おこし協力隊の倉科智子さん(42)が、バレンタインデーに向けて考案した。チョコレートの苦味や甘さが異なる2種類があり、1袋60袋入り250円。

13、14両日に計20袋を売り出し、以降も土日曜と祝日に同産直市で販売する予定。倉科さんは「地域で定番のお土産になれば」と話していた。(岡島久夫)

美馬市美馬町重清北地区の農家でつくる百笑一起の会が、地元特産の干し芋にチョコレートをかけた「いもチョコ」=写真=を作り、13日から地区の産直市・太陽マーケットで販売を始めた。

サツマイモの干し芋を棒状に切り、一部をチョコレートでコーティングしている。重清北地区で活動する

「いもチョコ」  
地元特産品で

美馬

